

# 浄泉寺通信

第4号  
年4回発行  
浄土真宗本願寺派  
吉見布教所浄泉寺  
埼玉県比企郡吉見町  
久保田40-1  
発行責任者 福井学誠

## 親鸞聖人750回大遠忌法要が円成

### 御正当法要に参拝

昨年4月から勤修されてきた親鸞聖人750回大遠忌法要が本年1月16日ご満座を迎え円成いたしました。50年に一度の大遠忌法要の集大成となる御正当法要は、わたしが親鸞聖人に感謝を伝える法要でもあります。親鸞聖人は今から750年前の1263年1月16日、凍てつく京都で90年に及ぶご生涯を終えられました。何も頼りにならず混迷を深める世で、さとりを目指し、阿弥陀如来

にまかせて生きる浄土の教えを弘め伝えられたご生涯でした。浄土とはわたしの前生と後生を貫くただ一つの道です。この道がなかったらどこから来てどこへ行くのか、わたしは何者なのかという人生の根本命題は解決できません。わたしの人生の根本に浄土の一本道が開けることが、ご信心をいただくということなのです。この教えは、親鸞聖人がいらつしやらかなったならば伝えられることのなかった法です。親鸞聖人の御命日にあわせて毎年報恩講を、50年ごとに盛大に大遠忌をおつとめしてきた伝統にはそうした背景があります。今回の大遠忌法要は65日間

にわたたり115座がつとめられ、総参拝者は143万人に上ります。本年1月9、10日の2日間、浄泉寺からも住職夫妻が法要に参拝いたしました。法要では本山でこれまでで最大という800号のろうそくが新たに作られ、用いられました。重さ3キロ、高さ54センチ、手作りのため1本が3万円と高価ですが一度に2本、午前午後計7日間の法要で28本用いるという規模の大きさです。一回り大きな1000号も試作されたものの、燃焼実験で使用に適さないと判明し、実際の法要には800号が用いられました。わたしは、富山浄泉寺前住職であり祖父の五条袈裟を身に



着けて出勤です(下写真)。ところで浄土真宗の東西本願寺は歴史的な縁と、近接して所在していることから、たびたび比較されます。報恩講で耳にするのは「西の供物、東の華」という言葉です。これは西本願寺は御供物、東本願寺は仏華がとくに立派という意味です。東本願寺の報恩講は毎年11月下旬、ご参拝の際はお荘厳のなかでもとくに立派な仏華にご注目ください。西本願寺は供物がとくに立派です。今回の大遠忌法要期間中にお供えされた御供物は毎回28種類(1種類は1対)に上ります。その内訳は落雁と餅が主で、羊羹、饅頭などの菓子も加え、さらに椎茸、昆布、蜜柑、干瓢、湯葉、寒天、花豆などに、季節物として金柑

(4月)、柿餅(5月)、青梅(6月)、酢橘(7月)、胡桃(9月)、栗(10月)、作柿(11月)、銀杏(1月)を各回入れ替えました。西本願寺門前の京菓子舗、亀屋陸奥さんの職人の手で作られており、今回の御供物について「例年の御正忌報恩講の倍以上の数であり、どのような材料を用い、どう配色するかや図柄に苦労しました。今回は慶事ですので色、形の美しいものを選ぶよう努めました」(亀屋陸奥・河元正博さん)と話されています。右写真は例年の報恩講の御供物です。伝統のなかで創造する職人の熱意に頭が下がります。(住職)



### 大谷光淳新門様が 浄泉寺をご訪問!



浄土真宗本願寺派新門また築地本願寺副住職でもある大谷光淳新門様が3月19日、浄泉寺を訪問されました。今回のご訪問は浄土真宗本願寺派が首都圏で進める都市開教の現場視察が主な目的ですが、わたしたちにとりましては激励のお言葉をいただけるまたとない機会でした。わずか一時間ほどのご滞在でしたが、わたしたちのお寺の活動を詳しくご説明し、これから本格化する伽藍整備に向けた抱負もお話いたしました。新門様はいずれ西本願寺のご門主となられるお方で、浄土真宗のおみのりを後世に伝える重責を一身に背負われるお方ですので、今回のご訪問は記念すべきご縁でした。

### 浄泉寺盂蘭盆会

様、法要懇志と弁当代) 法話 福井

ご先祖を偲び、浄土へ想いをはせる盂蘭盆会を、東京築地の築地本願寺で勤修いたします。富山浄泉寺住職、埼玉浄泉寺住職とともに参ります。法要後には築地本願寺「日本料理紫水」長島博料理長のオリジナル精進弁当をいただきます。この機会には非诚勿扰、埼玉浄泉寺ホームページと一緒に参りいたしましょう。などでお申し込みください。

■7月14日(土) 午前11時

■築地本願寺(東京メトロ築地駅下車徒歩1分、駐車場多数)

■参加費3,000円(お一人)

■静志(富山浄泉寺住職)

■事前に葉書、申込書のファックス、埼玉浄泉寺ホームページ

などでお申し込みください。

などでお申し込みください。

などでお申し込みください。

などでお申し込みください。

などでお申し込みください。

などでお申し込みください。

1月29日に「わくわく子ども会」を開催しました。近所の子どもと父兄の皆さん20名にご参加いただき、お餅つきとお話し会で楽しく過ごしました。次回は4月8日に開催です。体験お菓子づくりと腹話術のグループがやってみます。大人も楽しめますので、是非お越しください。また、東武東上線東松山駅前のカフェをお借りして、毎週月曜日17時から1時間、「はじめの歎異抄講座」を始めました。毎週してますから、お気軽にお越しください。駅から徒歩5分ほどの所にあるカフェです。

4月2日(月) 17時(毎週開催)

はじめの歎異抄講座(東武東上線東松山駅前・まちカフェ)

4月8日(日) 9時30分

わくわく子ども会と花まつり

(吉見布教所浄泉寺)

4月15日(日) 14時

築地本願寺和田堀廟所法話会出講(杉並区)

4月20日(金) 19時

はじめの歎異抄講座(第7回)

4月21日(土) 18時30分

フレサよしみ(埼玉県吉見町)

4月22日(日) 18時30分

新月ヨガナイト

フレサよしみ(吉見町)

5月13日(日) 15時

親鸞聖人降誕会(吉見布教所浄泉寺) ★親鸞聖人のご誕生をお祝いする法要です。

5月18日(金) 19時

はじめの歎異抄講座(第8回)

5月20日(日) 13時

フレサよしみ(吉見町)

5月26日(土) 18時30分

新月ヨガナイト

6月11日(月) 13時

聞兼寺法話会出講(埼玉県上尾市)

6月15日(金) 19時

はじめの歎異抄講座(第9回)

6月24日(土) 18時30分

フレサよしみ(吉見町)

新月ヨガナイト

フレサよしみ(吉見町)

5月13日(日) 15時

親鸞聖人降誕会(吉見布教所浄泉寺) ★親鸞聖人のご誕生をお祝いする法要です。

5月18日(金) 19時

はじめの歎異抄講座(第8回)

5月20日(日) 13時

フレサよしみ(吉見町)

5月26日(土) 18時30分

新月ヨガナイト

6月11日(月) 13時

聞兼寺法話会出講(埼玉県上尾市)

6月15日(金) 19時

はじめの歎異抄講座(第9回)

6月24日(土) 18時30分

フレサよしみ(吉見町)

新月ヨガナイト

フレサよしみ(吉見町)

おがわ温泉花和楽の湯(埼玉県小川町)の足湯で毎週水曜14時30分から「気軽に、温泉法話」と題し、法話をしています。坊守は毎週火曜に吉見町で、第2・第4木曜に川越市で、ヨガサークルを主宰しています。詳しくは、お寺まで。TEL 0493-54-8803